

別府市 所得は低いのに、国保税は高い 県下で一番、重い負担

《所得割が課税されている世帯の平均所得と課税額》

負担割合順位	平均所得額	平均課税額	負担割合
1 別府市	155万7,948円	33万1,200円	21.16%
2 竹田市	175万8,529円	35万1,200円	19.97%
3 津久見市	152万0,684円	29万7,800円	19.58%
4 臼杵市	164万4,428円	32万0,600円	19.50%
5 杵築市	158万9,298円	29万8,600円	18.79%
6 豊後高田市	175万7,275円	32万6,400円	18.57%
7 豊後大野市	152万2,695円	26万9,500円	17.70%
8 佐伯市	175万8,518円	31万1,200円	17.70%
9 大分市	190万8,166円	32万9,100円	17.25%
10 宇佐市	158万0,073円	27万1,000円	17.15%
11 日田市	170万1,581円	28万4,100円	16.70%
12 由布市	161万7,146円	26万0,400円	16.10%
13 中津市	163万9,614円	25万5,100円	15.56%

★（平成23年度、40歳代2人世帯）国東市は、比較できないため除く

左の表は、所得割が課税されている世帯の平均所得と平均税額です。所得の20%を超えているのは別府市だけです。これでは払えない人が多いのは当然です。
ところが別府市の国保会計では、滞納が多にもかかわらず、毎年の単年度収支は約2億円もの黒字です。大幅に引き下げるべきです。

2月6日に、4月以降の税額が示されます

4月以降の国保税額が、2月6日13時30分より市役所1Fレセプションホールで開かれる国保運営協議会で審議され、3月議会に提案されます。傍聴も可能です。

浜田市長は「累積赤字を5年間で解消する」として、平成20年度から国保税を大幅に引き上げました。ところが市長選挙前の昨年3月議会では「一般会計からのくり入れも検討して国保税の負担を軽減する」と、引き下げを公約したのです。

どれだけ一般会計から入れて、どれだけ引き下げられるか、ご注目ください。

大幅引き下げをめざし、さらに署名をすすめましょう

げんきニュース

1012年1月29日 NO. 497

高すぎる国民健康保険税

大幅引き下げの財源はある

増え続ける市の基金

【平成 12 年度末】 **81 億円**



【同 22 年度末】 **113 億円**

このうち何にでも使える財政調整基金は
18 億円 (H12 年度末) から 57 億円 (H22 年度末) に
3 倍にも増えています。

別府市の貯金である基金残高は、この10年間で増え続けています。《左表を参照》
この一部を取り崩し、国保会計に入れて、国保税の大幅引き下げを実現すべきです。その財源はあるのです。

《国保財政安定化支援金》

市は9億円もの国保支援金を出さず

この支援金は、国が8割、市が2割を負担します。ところが別府市は長いあいだ、この市負担分を国保会計に入れておりません。その総額は、平成12年度から21年度の10年分だけでも約9億円。このお金は一般会計にため込まれました。

その一方で、平成20年度から国保税を増税

浜田市長は、「国保会計に累積赤字(平成19年度末で9億2千万円)があるから」として、国保税を大幅に引き上げました。日本共産党は「市が出すべきお金を出さず、その分を国保税に上乗せする不当値上げだ」と反対しましたが、自民・公明・社民などの賛成で、この値上げは強行されました。

取り過ぎて、国保会計は年2億円の黒字

値上げ後、高すぎて滞納が増えました。それでも国保会計は年間約2億円、3年間に約6億円もの黒字です。一般会計にため込んだ9億円を国保会計に返せば、大幅な引き下げができます。